

役職選考会の開催について

令和8年3月24日
公益社団法人 日本介護福祉士会
選 挙 管 理 委 員 会

令和8年は本会役員の改選期にあたり、次期会長の選出にあたり立候補を募ったところ、下記2名の届出がありました。書類を審査した結果、要件を満たしていることが確認されました。

つきましては、令和8年4月10日（金）に下記のとおり役職選考会を開催し、理事予定者による次期会長候補者の選出を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

- 1 日時 令和8年4月10日（金） 13：00～13：30
- 2 場所 公益社団法人日本介護福祉士会 会議室
（東京都文京区後楽 1-1-13 小野水道橋ビル7階）
- 3 立候補者

No.	立候補者氏名	所属都道府県
1	イマムラ フミノリ 今村 文典	熊本県
2	アサノ サチコ 浅野 幸子	大阪府

（敬称略・届出順）

以上

次期会長立候補届所信表明

氏名	立候補理由と本会運営についての所信表明
今村 文典	<p>我が国では、少子高齢化の進行に伴い、介護ニーズはますます多様化・高度化・複雑化しています。同時に、深刻な介護人材不足、処遇や労働環境の課題、さらには外国人介護人材の増加に伴う育成や指導など、介護福祉士を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。</p> <p>このような中、介護福祉士の専門性を社会に正しく位置付け、制度や政策に反映させていく取組は、これまで以上に重要になってきています。日本介護福祉士会は、長年にわたり専門職能団体として一定の役割を果たしてきましたが、今まさに「次の段階」へ進むことが求められています。</p> <p>その為には、これまでの取組を基盤としながらも、組織運営の強化、会員参画の促進、そして社会に向けた発信力の向上を図り、より開かれた職能団体へと進化させていく必要があります。</p> <p>私はその先頭に立ち、次の時代の日本介護福祉士会を築いていきたいと考え、立候補を決意しました。</p> <p>私は会長として、日本介護福祉士会の運営を時代に即した形へと改革していきます。介護福祉士を取り巻く環境が大きく変化していく中、会の運営もこれまでの延長ではなく、会員ニーズに基づいた事業運営、さらにわかりやすい情報発信、効率的で透明性のある組織体制を構築します。特に若手、現役世代が参画しやすい仕組みを整えながら、会員である価値を実感できる職能団体を目指していきます。</p> <p>その上で持続可能な組織体制と財政構造を確立させつつ、次世代に引き継げる日本介護福祉士会を会員の皆様と共に築いてまいります。</p>
浅野 幸子	<p>この度、次期会長に立候補いたしました浅野幸子です。</p> <p>今回、取り組みたいこととして、まず、組織の一層の拡大と活性化を図ってまいります。</p> <p>多様な価値観や専門性を兼ね備えた仲間が集い、互いの強みを生かせる組織こそが、未来に向けた成長の原動力であると考えております。その基盤づくりとして、会員同士が連携し力を発揮できるよう、情報共有しやすく、支え合える仕組みを強化してまいります。</p> <p>次に、会員が安心して働き続けることのできる環境づくりを重視いたします。介護現場は人の生活と尊厳を支える、大変責任ある仕事です。その使命を果たすためにも、働く一人ひとりが心身ともに安心できる環境は欠かせません。現場の声を丁寧に聞き取り、より働きやすい仕組みづくりに努めてまいります。</p> <p>さらに、介護福祉士資格取得者の男女比が、女性約7割・男性約3割という現状を踏まえ、役員構成における男女のバランスにも配慮してまいります。多様な視点が反映される組織運営は、会の質を高めるだけでなく、職域全体の魅力向上にもつながるものと考えております。誰もが参画しやすい環境を整え、公平で開かれた組織をめざしていきます。</p> <p>私は、日本介護福祉士会および都道府県介護福祉士会がさらに発展し、すべての会員が安心して誇りをもって働ける環境を整えるため、皆様と共に、誠心誠意力を尽くしてまいります。</p> <p>これからの介護業界をより良いものにしていくため、全力で行動してまいります所存です。何卒、ご支援・ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。</p>

※敬称略、届出順